

## <対策のポイント>

肥料の安全を確保しつつ、安価な肥料原料を使用できるようにするために、科学データの収集分析を実施します。  
また、ICTを活用した肥料情報システムを構築します。

## <政策目標>

肥料制度の見直し等による**安全かつ低コストな肥料の供給**

## <事業の内容>

### 1. 肥料制度の見直し等に向けた調査・対策の実施[新規・拡充]

- ① 産業副産物等の様々な資源を、安全や品質を確保しつつ、肥料原料として有効利用するため、有害成分の含有実態を調査し、**肥料生産に利用できる原料の規格設定や生産工程での有害成分の管理手法の確立等**を行います。
- ② 堆肥に含まれるクロピラリドによる生育障害の発生を予防するため、**含有実態の調査や被害防止対策の確立等**を行います。
- ③ **野菜による食中毒を防止**するため、堆肥生産工程における**有害微生物の管理手法の確立**に向けた実態調査を行います。
- ④ めん山羊由来肥料の利用再開に際し、BSE対策のために、**めん山羊がめん山羊を原料とする肥料を摂取しないようにするための材料を開発**します。

### 2. ICTを活用した肥料情報システムの構築（事務費）[拡充]

- 肥料の登録や届出等の情報を一元管理するとともに、**現場で必要な情報を農業者等にも提供できるようにするため、肥料登録システムの拡充**を行います。

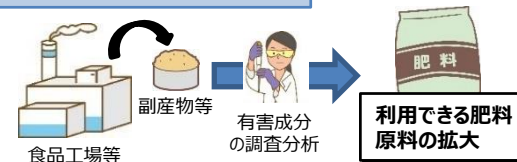
## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 肥料の安全確保に向けた制度の見直しに向けた調査・対策

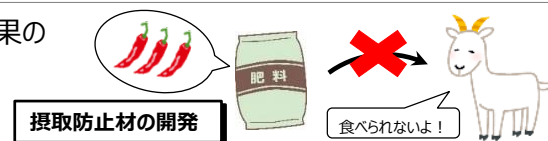
- ・肥料原料に利用可能な国内産業由来の副産物の特定等に向けた実態調査



- ・堆肥中のクロピラリド、有害微生物の管理手法の確立に向けた実態調査

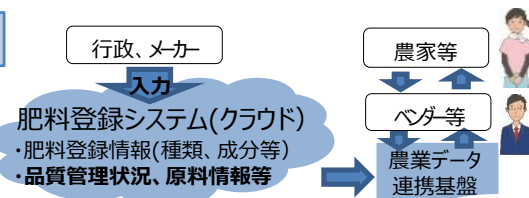


- ・めん山羊の摂取を防止する効果のある材料の開発



### ICTを活用した肥料情報システム

- ・農業データ連携基盤に接続する、一元的情報管理システムの構築



## 安全かつ低コストな肥料の供給

【お問い合わせ先】 (1 ①～②、1 ④、2) 消費・安全局農産安全管理課 (03-3502-5968)  
(1 ③) 消費・安全局農産安全管理課 (03-3502-7569)